

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公表番号】特表2007-522977(P2007-522977A)
 【公表日】平成19年8月16日(2007.8.16)
 【年通号数】公開・登録公報2007-031
 【出願番号】特願2007-500862(P2007-500862)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月16日(2008.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像内の着色画素を形成するために、複数の着色インク量に加えて、印刷される保護インク量を決定して適用する方法であって：

a) 該保護インク量と該着色インク量との合計が、該画像に十分な耐久性を提供するのに必要な最小インク量以上であるように、該保護インク量を決定し；そして

b) 該着色画像画素を形成するために、インクジェット・プリンターを使用して、該着色インク量及び該保護インク量を適用する、
 ことを含んで成る方法。

【請求項 2】

該保護インク量が、該着色インク量の合計でアドレスされたルックアップ・テーブルを使用して決定される、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

該着色インク量の合計が閾値インク量T以下である画素において、該保護インク量と該着色インク量との合計が閾値インク量T以下となるように、該保護インク量が決定される、請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

該着色インク量の合計が最小インク量M未満である画素において、該保護インク量と該着色インク量との合計が該最小インク量Mに等しくなるように、該保護インク量が決定される、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

画像内の着色画素を形成するために、複数の着色インク量に加えて、印刷される保護インク量を決定する方法であって：

a) 1つの画素のための着色インク量に応じて、該1つの画素のための着色インク量の合計を決定し；

b) 該1つの画素の着色インク量の合計及び着色インク量に応じて、該1つの画素のための保護インク量を決定する、
ことを含んで成る方法。